

ザンビア政治・経済月報(2015年8月)

主な出来事

【内政】

- ・3日, ザンビア政府は憲法改正案(人権関連規定, 憲法改正関連規定を除く)等を公表。
- ・6日, ルアプラ州バングウェウル選挙区において国民議会補欠選挙が行われ, カサンドウエPF候補が議席を獲得。
- ・11日, ルング大統領はシアムネネ運輸公共事業調達通信副大臣(UPND, 南部州シナゾングウェ選挙区国民議会議員)を国防大臣に任命。
- ・22日, 大統領府においてPF中央委員会が開催され, 次期大統領選挙のPF候補をルング大統領兼PF党首とすることが決定された。

【外政】

- ・5日から7日にかけて, オシンバジヨ副大統領はダンゴータ・セメントプラントの開所式に出席するためザンビアを訪問。
- ・25日から27日にかけて, ルング大統領はナミビアを訪問。

【経済】

- ・ザンビア政府がファーストクワンタム社(FQM)に対する電力供給制限を解除したことを受け, 北西部州のセンチネル鉱山の労働者1480名の雇用が守られることとなった。
- ・ザンビア政府及びマラウイ政府は, 両国間の電力供給向上を目的として, 330キロボルト(KV)の電力送電線の敷設にかかる覚書(MoU)に署名した。
- ・20日, ルング大統領は, ヤレロ養殖場(総額1000万米ドル・民営)の操業を開始し, 国内の漁業生産(fish production)の増加を呼びかけた。

* PF: 愛国戦線(与党), MMD: 複数政党制民主主義運動(第1野党), UPND: 国家開発統一党(第2野党)

* タイムズ、デイリーメールは国営。ポスト、デイリーネーションは民営。

【内政】

- ・1日, トンガ民族伝統的指導者(「チカンタ」, 「チペポ」)は, ウィナ副大統領のチャマPF幹事長発言に関する謝罪を歓迎する等の発言を行った。(2日, タイムズ, メール, ネーション)
- ・3日, ザンビア政府は憲法改正案(人権関連規定, 憲法改正関連規定を除く)等を公表。(4日, タイムズ, メール, ネーション)
- ・6日, ルアプラ州バングウェウル選挙区において国民議会補欠選挙が行われ, カサンドウエPF

候補が議席を獲得。(7日, タイムズ, メール, ネーション)

- ・6日, 7日, チサンガ・ザンビア法曹協会会長, ロングウェNGO調整委員会議長は, 憲法改正案全体が国民投票を通過すべきである旨発言。7日, シュルツ当地米大使は, 憲法改正に関するルング政権のアプローチを支持する旨発言。9日, カニヤンタ・マンガ2世ベンバ民族最高伝統的指導者(チティムクル)は, 憲法改正よりも優先すべき課題がある旨発言。(8日, ポスト, ネーション, メール等)
- ・7日, ザンビア警察カサマ警察署はムワンバUPND副党首がカサマ郡議会補欠選挙の選挙キャンペーン中, 暴力行為を行ったとして, 同氏を逮捕した。同日, ムワンバ氏はカサマ第1審裁判所に出廷。同氏は保釈金の支払い等を行い, 保釈された。(8日, タイムズ, メール, ネーション)
- ・7日, ルサカ高等裁判所レンガレンガ判事は, マタビニ国民議会議長によるムワンバUPND副党首の議席喪失に関する宣言につき法的審査を行うことを決定した。(8日, タイムズ, メール, ネーション)
- ・11日, ルング大統領はシナムネネ運輸公共事業調達通信副大臣(UPND, 南部州シナゾングウェ選挙区国民議会議員)を国防大臣に任命するとともに, カピヤンガ国民議会議員(中央州カブウェ中央選挙区)を運輸公共事業調達通信副大臣に任命。(12日, タイムズ, メール, ネーション)
- ・22日, 大統領府においてPF中央委員会が開催され, 次期大統領選挙のPF候補をルング大統領兼PF党首とすることが決定されるとともに, 北部州カサマ中央選挙区補欠選挙のPF候補をケルビン・サンパ氏とすること等が決定された。(23日, タイムズ, メール, ネーション)

【外政】

- ・8月3日から14日にかけて, ルサカ内ナンキング演習場において, 米, SADC諸国等による軍事演習「Southern Accord 2015」が開催された(米, 英, 独, 蘭, アンゴラ, ボツワナ, マラウイ, ナミビア, タンザニア等から約850名の軍事関係者が参加。)(15日, タイムズ, メール, ネーション)
- ・5日から7日にかけて, オシンバジョ副大統領はダンゴーテ・セメントプラントの開所式に出席するためザンビアを訪問。(5日, メール)
- ・25日から27日にかけて, ルング大統領はナミビア英雄の日記念式典に出席するため, ナミビアを訪問。(28日, メール)
- ・27日, チャン中国商務部副部長は, ザンビア国内の製粉所設立及び職業教育のための物資の寄付にかかる交換公文に署名するため, ザンビアを訪問した。(28日, メール)

【経済】

- ・4日, ルング大統領は, コッパーベルト州マサイティ郡にて, ダンゴテ社によるセメント工場(総額4億米ドル)の操業を開始した。(5日, タイムズ)
- ・ザンビア政府がファーストクワンタム社(FQM)に対する電力供給制限を解除したことを受け,

北西部州のセンチネル鉱山の労働者1480名の雇用が守られることとなった。(6日, タイムズ)

- ・Lafarge Zambia 社は, スイス系の Holcim 社と合併し, Lafarge Holcim が設立された。(9日, デイリーメール)
- ・ザンビア歳入庁(ZRA)及び UNCTAD は鉱業セクターからの歳入を確保すべく, 鉱業バリューチェーンのモニタリングにかかる枠組みの策定に同意した。(10日, タイムズ)
- ・ザンビア電力公社(ZESCO)は, FQM のカンサンシ鉱山及びセンチネル鉱山に対する電力供給を全面的に復旧した。(11日, デイリーメール)
- ・ザンビア政府及びマラウイ政府は, 両国間の電力供給向上を目的として, 330キロボルト(KV)の電力送電線の敷設にかかる覚書(MoU)に署名した。(13日, デイリーメール)
- ・食料備蓄庁(FRA)は, メイズ(1袋50キロ)の買い取り価格を70クワチャに維持し, 17日から開始となる作物の流通期間中に, 農家から買い取るために7億クワチャを費やすとされている。(13日, デイリーメール)
- ・チクワンダ財務大臣は, 先般発行された12.5億米ドルのソブリン債の拠出について, 過去に発行されたソブリン債が無償資金(grant)として拠出されたのとは異なり, 借款として拠出される旨明らかにした。(17日, デイリーメール)
- ・ヤンバ財務官は, 先般発行された12.5億米ドルのソブリン債に175の欧米の投資家が申し込んだ旨発言した。同財務官は, 右ソブリン債の返済について, 2025年7月, 2026年7月, 2027年7月の3回からなる返済時期に4億1670万米ドルずつ返済される予定である旨発言した。(20日, タイムズ)
- ・19日, Northern Coffee Corporation Limited(NCCL:シンガポール系の Olam International 社が所有する企業)は, ザンビアのコーヒー豆を日本へ向けて初めて出荷した。(20日, タイムズ)
- ・20日, ルング大統領は, ヤレロ養殖場(総額1000万米ドル・民営)の操業を開始し, 国内の漁業生産(fish production)の増加を呼びかけた。(21日, デイリーメール)
- ・ヤルマ鉱山エネルギー水開発大臣は, ザンビアは, 2019年までにコスト反映型電気料金の履行に同意した SADC 加盟国である旨発言した。(25日, デイリーメール)
- ・ヤンバ財務官は, 銅の主要な消費国である中国経済の進展がザンビアの生産や価格, 歳入にネガティブな影響を与えている旨発言した。(27日, デイリーメール)
- ・27日, ザンビア政府及び中国政府は, 中国・ザンビア共同貿易経済委員会の第二回会合において, ザンビア国内の製粉所建設及び職業教育のための物資寄付にかかる交換公文に署名した。(タイムズ, 28日)
- ・First National Bank(FNB)は, 米国による利上げのタイミングの不確実性及び中国経済のパフォーマンスによって, クワチャを含む新興国市場の通貨が引き続き不安定である旨述べた。(31日, デイリーメール)
- ・ザンビア政府及び米国政府は, 二国間投資の促進に焦点をあてた, 貿易パートナーシップ

にかかる覚書(MoU)に署名した。同 MoU は、二国間貿易の促進及び投資環境の向上のための枠組みの提供を目的としたもの。(31日, タイムズ)